

栗山煉瓦創庫 くりふ

栗山町を象徴する「栗（くり）」

+

接木を意味する「graft（グラフト）」



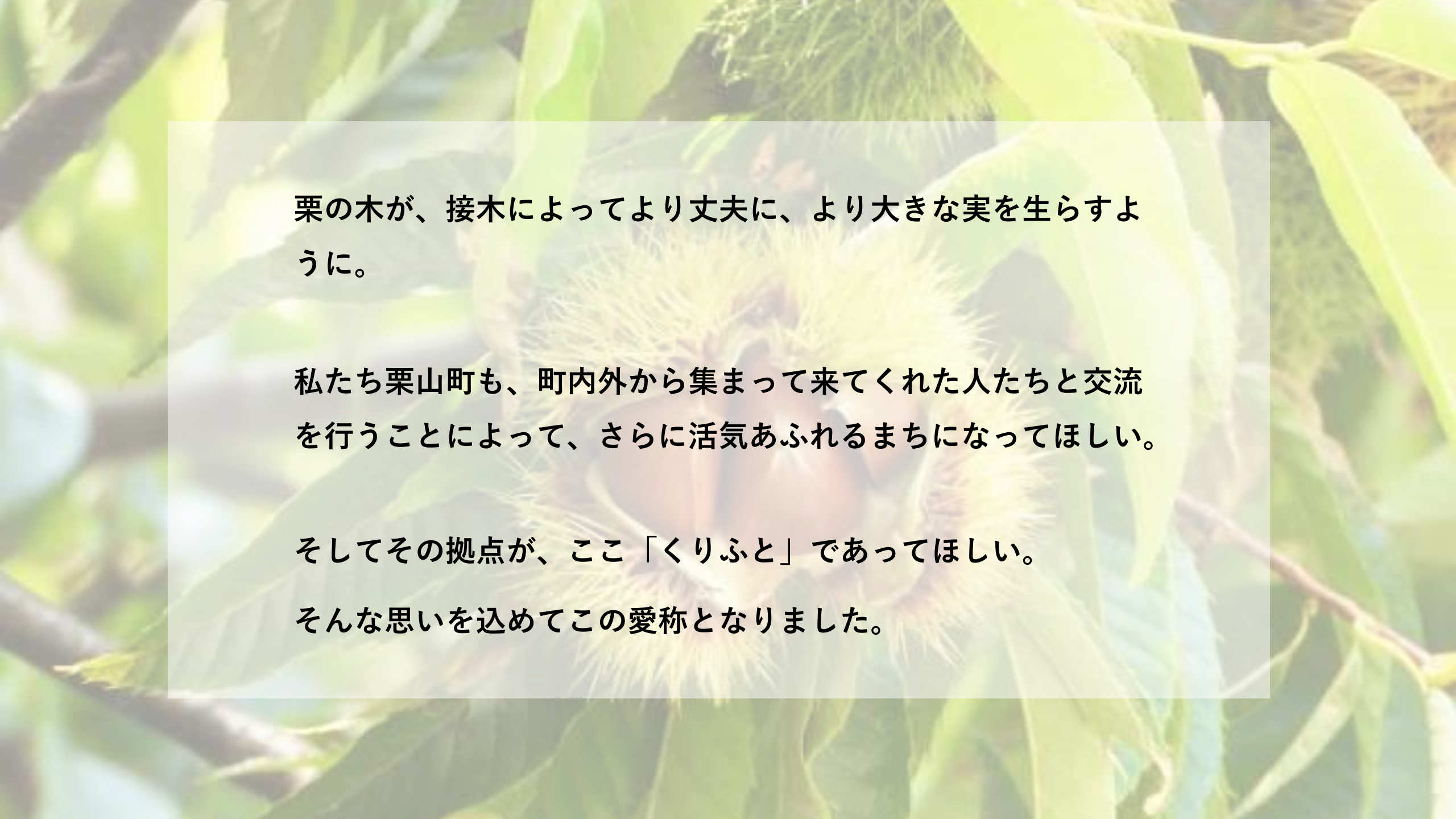
つぎき “接木”とは？

接木 - [名] (スル) 枝などを切り取って、同種または近縁の他の植物の幹に接ぐこと。

接木という言葉にはあまり馴染みがないかもしれません。

接木とは、2つ以上の植物を接着し、1つの新たな個体にする技術です。植物の枝や芽などの一部を切り取り、ほかの植物の枝や幹に切断面を作って接ぎ合わせます。

この接木をすることによって、より病害虫に強くなったり、大きな実を生らすようになったりするのです。



栗の木が、接木によってより丈夫に、より大きな実を生らすように。

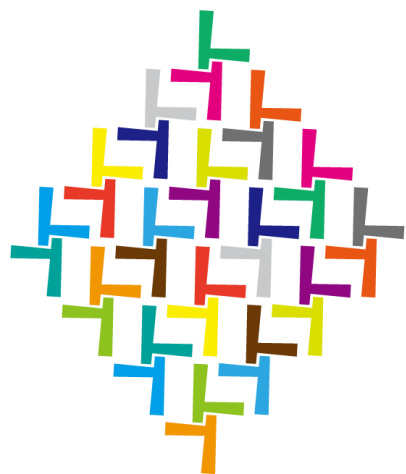
私たち栗山町も、町内外から集まって来てくれた人たちと交流を行うことによって、さらに活気あふれるまちになってほしい。

そしてその拠点が、ここ「くりふと」であってほしい。
そんな思いを込めてこの愛称となりました。

■ 『栗山煉瓦創庫 くりふと』 のロゴについて

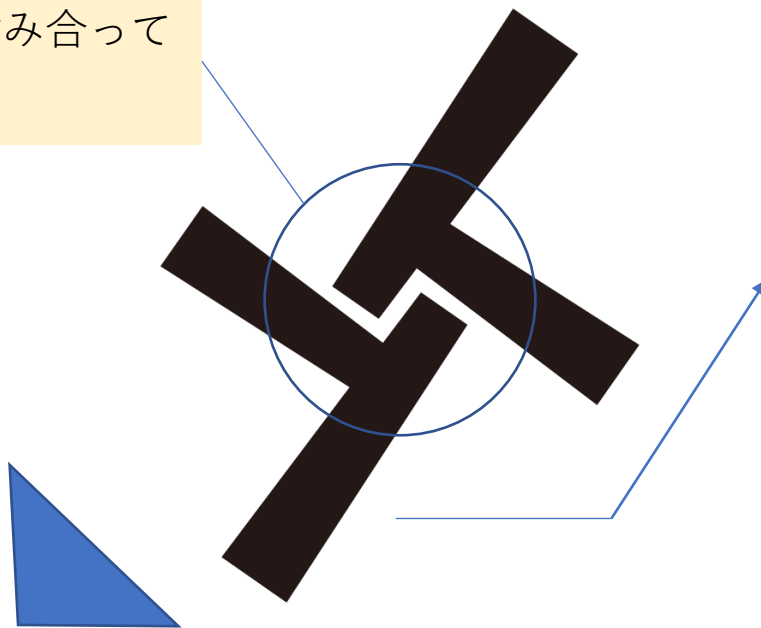
0 1 繋がる

くりふとの「く」がしっかりと噛み合って繋がり、接木が行われている様子



0 3 賑わいの波及

このロゴを幾つも組み合わせると、
広がりのある新たなパターンデザインが生まれる



0 2 育つ

枝が伸びている角度は、 137.5°
植物は 137.5° ずつ葉をずらしながら
ついているため日光をまんべんなく
浴びることができる
＝栗山町や施設の成長を表す角度



『栗山煉瓦創庫 くりふと』のロゴのモチーフは“接木”です。

ここを訪れば、栗山町のすべてに繋がることができる、
そんな施設を目指しています。

そして、

「なんだかふるさとが誇らしいな。」

「ここで新しい挑戦をしてみようかな。」

と感じる人が増えてくれると嬉しいです。

そんな人たちの存在によって、

栗山町は大きな栗の樹のように強く、

長く続くまちになっていくのだと思います。

より大きな実を生らすため、たくさんの栗山町民と

ここを訪れた人が交流（＝接木）する場所がありますように。